

令和8年度日本大学生産工学部入学者選抜
学力検査試験問題の出題意図について

選抜方式・期	一般選抜 A 個別方式 第1期
教科／科目	国語

大問1
語句の知識および熟語のコロケーションなどを問う知識問題

大問2
科学的知見を基にした文章の論理的な読解力を問う問題 問一：短文の正確な要約、言い換えをする能力を評価する。 問二：500～700文字程度の文章の論理展開を読み取る能力を問う。

大問3
論説的文章の読解力および基礎的国語力を確認するための問題である。新課程「現代の国語」に相当する。漢字・語彙など 知識問題とともに、一定の分量を持つ文章から内容を理解する能力を問う。全て選択問題である。 問一：常用漢字範囲内での漢字問題で、それぞれ常用漢字内での基礎的漢字力と語彙力を評価する。 問二：常用漢字範囲内での漢字の読み問題で、それぞれ常用漢字内での基礎的漢字力と語彙力を評価する。 問三：論理を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。 問四：論理と文脈を踏まえて空欄に語句を補充する問題。 問五：論理を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。 問六：論理を踏まえて一文を加筆する問題。接続語とキーワードの論理展開を関連付けする力を問う。 問七：論理を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。 問八：論理を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。 問九：論理を踏まえて空欄に接続語を補う問題。 問十：論理を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。 問十一：論理を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。 問十二：本文全体から内容を把握する問題であり、段落ごとの要点を的確に把握し、文章全体の内容を正確に理解する能力を評価する。

大問 4

現代文、随筆の読解力と理解力を確認するための問題である。内新課程の「現代の国語」に配慮しながら、「言語文化」にも相当させた。語彙や文学史の知識問題とともに、一定の分量を持つ文章から内容を理解する能力を問う。全て選択問題である。

問一：常用漢字範囲内での漢字問題で、それぞれ常用漢字内での基礎的漢字力と語彙力を評価する。

問二：常用漢字範囲内での漢字問題で、それぞれ常用漢字内で漢字を読み問題で、力を評価する。

問三：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。

問四：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。

問五：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。

問六：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。

問七：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。

問八：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を把握する問題。

問九：文学的文章の表現意図を理解する問題。

問十本文全体から内容を把握する問題であり、段落ごとの要点を的確に把握し、文章全体の内容を正確に理解する能力を評価する。

問十一：文学史問題。